

九州・沖縄支部の 2024 年度年次大会・総会を実施しました (2025 年 3 月 8 日-9 日)

環境教育学会は所属会員を各支部に分け、地域での取り組みを重視しています。2024 年度の年次大会・総会を長崎県で実施しました。

まず 1 日目、長崎大学で研究会を実施しました。合計 7 件の研究発表、16 名の参加がありました。うち 3 件は大学院生による研究内容の発表で、新しい方々にご参加頂き、非常に有意義でした。また、1 件は留学生を交えた SDGs プログラムの実施に関する内容で、参加した長崎大学の留学生による英語でのコメントがありました。



年次大会での研究発表の様子

その後、エクスカーションとして西海市雪浦地域に移動し、宿泊施設（森田屋）に宿泊、懇親会を行いました。道中で「道の駅 夕陽が丘そとめ」に立ち寄り、美しい夕日を眺めました。懇親会では、研究に限らず様々なことをざっくばらんに楽しく話し合いました。

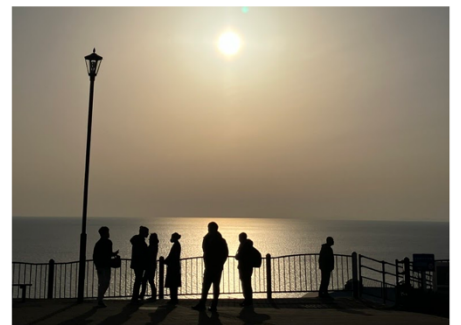
2 日目は、NPO 法人雪浦あんぱんねの渡辺督郎さまと荒瀬美佐子さまに、それぞれ雪浦の地域づくりの取組、森のようちえんの取組について講演を頂きました。雪浦は様々な地域づくりの取り組みや移住者の増加で有名な地域です。活発な質問・意見交換が交わされました。特に、環境教育活動の実践者同士の経験・知見のやり取りが有意義でした。



懇親会@森田屋



講演（荒瀬さま）



長崎市から雪浦地域に行くには美しい「ながさきサンセットロード」を通ります。ちょうど夕日が見える時間帯でした

その後総会を実施しました。総会では活発な意見が提出され、環境教育学会九州・沖縄支部として、雪浦など特定の地域と継続的に関わっていく可能性も示されました。

ご参加頂いた会員の皆様、お世話になった雪浦地域の皆様、どうもありがとうございました。

(文責: 支部長 大田真彦)